

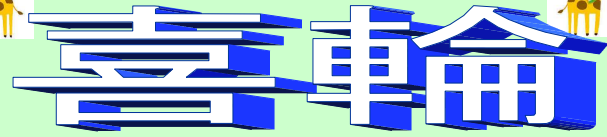



学校便り

名護市立安和小学校
令和元年度 学校便り 第6号
2019年6月26日
発行責任者 校長 宮城達也

離島体験交流事業 フォトショット !



- 7月の主な学校行事(予定)**
- 1日(月) 安全点検日・支部区長会
 - 4日(木) 屋部中学校区学校保健委員会
 - 5日(金) 授業参観日・PTA作業
 - 7日(日) 名護市PTA連合会
バレーボール大会
 - 8日(月) 安和っ子7実施週間
 - & 9日(火)・11日(木) 水泳教室
 - 9日(火) 音楽鑑賞会
 - 10日(水) 屋部中学校区生徒指導連絡協議会
 - 11日(木) 学校評議委員会
 - 12日(金) フラワーアレンジメント教室へクラブ活動へ
 - ※安和区地域教育懇談会?
 - 15日(月) 海の日
 - 16日(火) がじまる号来校
 - ※薬物乱用防止教室4、6年
 - 19日(金) 一学期終業式
 - ※ふれあい給食
 - 22日(月)・23日(火) サマースクール(午前・基礎学力アップ作戦)
 - ※(午後)個人面談
 - 24日(水) 校内俳句大会
 - 25日(木) 校内研修へAED等
 - 27日(土)・28日(日) 名護夏祭り
 - ※深夜徘徊防止街頭指導

離島体験交流事業で渡名喜島に行ってきました!

◎ 6月19日(水)から21日(金)までの3日間の日程で、5年生が渡名喜島を訪問しました。沖縄県企画部地域離島課が主催する沖縄県離島体験交流促進事業に応募し当選して交流が実現したものです。この事業は離島地域の活性化を図ることと同時に本島の児童を離島に派遣し、地域の人々や地元の小学生児童等との交流、様々な体験プログラムを通して、離島の生活や自然・文化等を理解することをねらいとして行われています。朝5時半という早い時間に学校に集合。船が出航するかどうかぎりぎりまで分からない中、那覇泊港に到着。午前8時半無事フェリー琉球が出航、船酔いに苦しみながら渡名喜島に向かいました【写真①】：途中特別に操縦室も見学させていただきました【写真②】。入村式後、最初の体験プログラムはもちきび収穫体験です。安和小学校のために刈り残しておいてもらった畑で、地元の農家さんに教えてもらいながら収穫作業を体験【写真③】。その後脱穀から製品化までの流れを見学しました。その後漁港内にてウミガメの観察です【写真④】。時折顔を覗かす数頭のウミガメを観察することができました。宿に戻り休憩後は島の東海岸へ散策に出かけました。アゾーラ浜の護岸に腰掛けクラス団結のポーズ【写真⑤】。宿は民家を改装した一軒家〈民宿ふくぎ屋〉で、それぞれに屋号がついており男女に分かれての宿泊です【食事は全員集合し、ふくぎ食堂でおいしく頂きました【写真⑥】。大雨となった二日目の体験活動は、室内でのプログラムとなり、午前はおオーダー作りを行いました【写真⑦】。地元の方に教わりながら、わら縄を編むところからチャレンジし、何とかオーダーを完成させることができました。午後は特産の島にんじんを使ったゼリー作りに挑戦です【写真⑧】。失敗もありましたが、おいしいゼリーが出来上がり、みんなで試食させていただきました。3日目最終日は早朝6時過ぎに渡名喜小中学校に集合し、地元の児童生徒たちと一緒にラジオ体操とチャレンジマラソンに参加しました【写真⑨】。その後は渡名喜島名物の朝起き会：集落清掃活動にも参加させていただきました【写真⑩】。ふくぎ食堂での朝食後、地元のコーディネーター：刑部結(おさかべゆい)さんの案内で集落散策に出かけました。国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されている、美しい昔ながらの赤瓦の家並みや、樹齢200年以上とされるふくぎ並木を見学。天気にも恵まれ島の北側に位置する上ノ手展望台や里御獄周辺から、渡名喜島の美しい景色を眺めることができました【写真⑪】。昼食後漁業協同組合へ場所を移し、上原教育長から渡名喜島で栄えていたカツオ漁の様子や、伝統ある水上運動会の様子等についてお話を伺うことができました。幸いに漁から戻った漁船から水揚げされたばかりのカツオも見学することができました【写真⑫】。最後のプログラムは、水上運動会の会場となるあがり浜での清掃活動です。渡名喜小中学校の児童生徒や地域の人たちと一緒に、少しでも清掃活動のお手伝いをすることができました【写真⑬】。プログラムの合間に、3日間を振り返るまとめの学習を行い、お世話になった方々へのメッセージをまとめた冊子を作成、離島式の場で手渡しました。いよいよ渡名喜島お別れです【写真⑭】。どの子どもも満足そうな笑顔で2泊3日の離島体験学習を終えることができました。なかなか行く機会のない渡名喜島での体験は、子どもたちの一生の思い出になったことと同時に、親元を離れての体験を通して、ひとまわり成長した姿を実感できた旅となりました。お世話になったコーディネーターの刑部さんを始めとする渡名喜島のみなさん、ファシリテーターの當銘さん、添乗員の前川さん、看護師の小濱さん、すべての人に感謝の気持ちでいっぱいです。良い体験と交流の機会を与えてもらい本当にありがとうございました。



